

私の表現としてのヒジャブ

9組 インドネシア

ライラ インタン ペーマタ サリ

ヒジャブは、世界中のほとんどのイスラム教の女性が身につける一枚のスカーフです。

イスラム教の女性は、イスラム教の経典コーランにおける神の教えに従い、ヒジャブをつけます。ヒジャブをつけている女性は守られていて感じる傾向があります。

初めて日本に来た時、先生たちが私のことをすぐに認識して覚えてくれたのでびっくりしました。ヒジャブのおかげだと思えます。

私の友達もイスラムの女性がヒジャブをつけているのを初めて見たと言いました。彼らは興味を持って私にたくさん質問をしてくれました。簡単なこと、面白いことからかなり深い内容の質問までありました。「なぜヒジャブをつけてなければならぬのですか？」とか「ヒジャブを何枚持っていますか？」とか

いろいろ ^い ^ろ ^ん ^な ^質 ^問 ^を ^さ ^れ ^た ^の ^で、 ^私 ^も ^答 ^え ^る ^の
^た ^か ^が ^楽 ^し ^く ^な ^り ^ま ^し ^た。 ^そ ^れ ^に、 ^友 ^達 ^や ^先 ^生 ^が
^私 ^を ^尊 ^重 ^し ^て ^く ^れ ^て、 ^私 ^の ^ヒ ^ッ ^ャ ^ブ ^と ^宗 ^教 ^に
^つ ^い ^て ^も ^っ ^と ^知 ^り ^た ^い ^と ^思 ^っ ^て ^く ^れ ^て ^い ^る ^こ
^と ^を ^嬉 ^し ^く ^思 ^い ^ま ^す。
^け ^れ ^ど ^も、 ^歩 ^く ^た ^び ^に ^批 ^判 ^的 ^な ^目 ^で ^私 ^を ^見
^て ^く ^る ^人 ^も ^少 ^な ^く ^あ ^り ^ま ^せ ^ん。 ^ど ^も、 ^そ ^れ ^に
^つ ^い ^て ^あ ^ま ^り ^考 ^え ^す ^ぎ ^ず ^に、 ^彼 ^ら ^は ^私 ^の ^宗 ^教
^に ^つ ^い ^て ^何 ^も ^知 ^ら ^な ^い ^の ^か ^も ^し ^れ ^な ^い ^と、 ^常
^に ^前 ^向 ^き ^に ^考 ^え ^て ^い ^ま ^す。
^良 ^い ^こ ^と ^の ^中 ^に ^必 ^ず ^悪 ^い ^こ ^と ^が ^あ ^る ^し、 ^悪
^い ^こ ^と ^の ^中 ^に ^も ^良 ^い ^こ ^と ^が ^あ ^り ^ま ^す。 ^ヒ ^ッ ^ャ
^ブ ^を ^つ ^け ^る ^と ^嫌 ^な ^こ ^と ^も ^た ^く ^さ ^ん ^あ ^り ^ま ^し ^た
^が、 ^友 ^達 ^や ^先 ^生 ^や ^周 ^り ^の ^人 ^た ^ち ^が ^そ ^れ ^を ^尊 ^重
^し ^て ^く ^れ ^て ^嬉 ^し ^か ^っ ^た ^で ^す。 ^ヒ ^ッ ^ャ ^ブ ^を ^つ ^け
^て ^い ^る ^私 ^は ^自 ^分 ^自 ^身 ^に ^つ ^い ^て ^多 ^く ^の ^こ ^と ^を ^語
^っ ^て ^い ^る ^と ^信 ^じ ^て ^い ^ま ^す。 ^な ^せ ^な ^ら、 ^そ ^れ ^が
^私 ^を ^特 ^別 ^は ^方 ^法 ^で ^他 ^と ^は ^違 ^う ^ユ ^ニ ^一 ^ク ^な ^存 ^在
^と ^し ^て ^見 ^せ ^て ^く ^れ ^る ^か ^ら ^で ^す。 ^た ^か ^ら ^こ ^そ、
^み ^ん ^な ^に ^見 ^せ ^ら ^れ ^る ^こ ^と ^し ^ヒ ^ッ ^ャ ^ブ ^を ^着 ^続 ^け

していることを誇りに思います。

(本文711字)